

心理科学基礎

副題：SDGS論

《担当者名》森田美智代 (非常勤講師 morita-shinri@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

持続可能な世界を実現するためのSDGSと企業のCSRを学ぶ事で自身のキャリア形成に役立てるような授業を行う。

【学修目標】

- ・ 持続可能な社会の実現にむけた様々な取組について理解する事が出来る。
- ・ 各企業のCSR (企業の社会的責任) を理解し就職活動に取り入れる事が出来る。
- ・ 個人が出来るSDGSを理解し日常生活に取り入れる事が出来る。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|-----------------------|---|-------|
| 1 | 持続可能な開発目標(SDGs)とは | リオ+21、歴史、17の目標を理解する。 | 森田美智代 |
| 2 | 低賃金労働とフェアトレード | スタバの「エシカル調達」の事例から学ぶ。 | 森田美智代 |
| 3 | 生物多様性と自然資本 | パタゴニアの企業理念の事例から学ぶ。 | 森田美智代 |
| 4 | ビジネスと人権 | ・ ディセントワーク (働きがいのある人間らしい仕事) を理解する。 ・ フジテレビ問題の事例から学ぶ | 森田美智代 |
| 5 | SDGsとCSR (企業の社会的責任) | ・ CSRを理解し、自己の就職活動にどのように役立てるのかを理解する。 ・ 労働CSRと環境CSRの違いを学ぶ。 | 森田美智代 |
| 6 | 実企業のCSR事例研究 1 | ・ 提供する実企業のCSR報告書、もしくは自身が選択した実企業のCSR報告書について討議する。 | 森田美智代 |
| 7 | 実企業のCSR事例研究 2 | ・ 選択したCSRについてグループワークで討議し発表する。 | 森田美智代 |
| 8 | 最終レポート | 選択した企業のCSRを分析し、主な取組や成果と課題、自己のキャリアへの影響を整理する。 | 森田美智代 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部 (研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート課題 (90%)

授業への取組み態度 (10%)

【備考】

- ・ 授業内でのICT活用について：classroomを適宜利用する

【学修の準備】

関連する書籍や雑誌等を読んでおくとう理解しやすい。

(参考図書)

- ・ サステナビリティと本質的CSR 後藤敏彦+園田綾子 三和書籍
- ・ 生物多様性・自然資本経営 藤田香 日経BP社

【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

DP1. 心身の健康を保持し学修を継続できる基本的態度と知識・技能を身につけている

DP9. S D G s の視点を取り入れ、多様性や包摂性に関する理解を踏まえた社会的貢献をする力を有しているというポリシーに合致している。

【実務経験】

特定社会保険労務士、キャリアコンサルタント、MBA (経営管理修士)

【実務経験を活かした教育内容】

特定社会保険労務士、MBAとして企業への支援活動の実務経験を生かした講義内容

(2026年度・心理科学部)

キャリアコンサルタントとしてのクライアントへの就職支援活動の実務経験を活かした講義内容